

拜啓 敬承の儀 益々清栄の如き

賀す

傳は昨年七月より本年二月まで計算書、

及雨期料の総額を對入の二箇の書留に

又取付

赴任後約四万の内の是れは不足の初言

内由ありし概法は中絶のほき社長の

おはしりたの事 情なむは六下りの打

切法并り以りて

朝日新聞合資會社

新四土年十月より早二年間の月賦金及毎月の

同化或は四月九日おは或は未留九日等と

てり又入の俵金(金)の五ヶに并におはし

たは早二年二月より四月まで雪都降花

いあたり書の無の何れ入りの者き

としぬり 就ては二月の電報の答をて

ら留に送る印びりて計算は左の

通りおはし

二月のり又入金は別科の残高五百部

二留の早とを基とてるがに送付



14  
2090  
55(5)





14時  
2090  
55(5)  
1-2

の決算書の体裁を結構な間々後  
毎月末に送付して、折衝料の  
又取寄せの回もよくお返しに  
承る

は之をお返しは凡そお社の指符と同  
即ち一冊をお返しに折衝料は  
毎月末の報書と共々一冊  
越えたる月以下お返しに  
之とも同報料は送付のみ  
折衝書の通月報書は  
送付のみ

朝日新聞合資会社

毎月の代も今後は凡そ社費  
でお返しに折衝料は  
一冊のみ

先はたは送る一冊を  
折角の月定費にお返しに

折衝料  
一冊

折衝料



14  
2090  
55(5)

露都何後分清算

一全四百五拾月也

此任在邦家何後分

一全四百七拾八留六拾五号

電報拜五月拾五号

一全五百留

四十二年十二月拾五号

一全五百留

四十二年二月拾五号

計千九百七拾八留六拾五号

一全六百月也

此任在查考等号

一全拾留

四十二年七月電報拜

一全貳百拾七留五号

八月

一全六拾四留拾五号

九月

朝日新聞合資會社

一全七拾貳留七拾五号

四十二年十月

一全百六拾四留四拾五号

四十二年十一月

一全貳百拾五留九拾五号

十二月

一全八拾八留九拾五号

四十二年一月

計千四百貳拾五拾七号

差引殘五百貳拾二留八号

向之留之合併計算之在月之号

旅井の遺札未読の一府殘金は

為之留之公同の号に在り

485

露都日本大使館  
長谷川辰之助様

*via Siberia*  
Mr. Hasegawa Tatsunosuke

% The Japanese Embassy

St. Petersburg

*Registered*  
Russia

R  
OSAKA JAPAN  
No. 460



62-2



特別
14
2090
55(5)



From Osaka Asahi Shinbun  
Osaka, Japan